

「元気いっぱい・笑顔いっぱい」

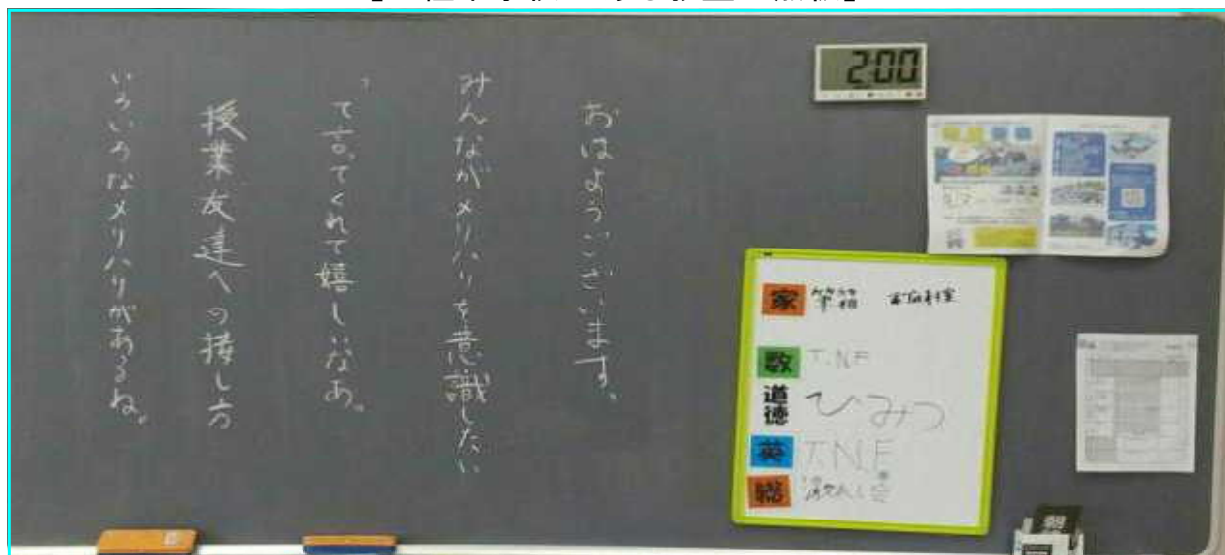


特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

「メリハリ」のある生活

藤里町、八峰町、三種町の園と小・中学校を訪問して子どもの活動の様子を参観したり、気がかりな子どもの情報交換をしたりしました。新学期がスタートし、環境の変化にストレスを感じるものですが、子どもたちが意欲的に活動に取り組む様子や先生方が張り切って授業する姿に、今年度にかかる意気込みが伝わってきました。

【三種中学校のある教室の黒板】



新築の香りがする三種中学校を訪問した際、ある教室の板書に思わず見入ってしまった。生徒が教室にいないとき、担任の先生がこっそり書いたメッセージである。生徒が学校生活のどのような場面で「メリハリ」を意識し、どのように行動に移すかは、充実した時間を過ごすための鍵となる。担任の先生の生徒を応援する温かい言葉と嬉しい気持ちは、生徒たちの心に届き、新たな気付きを与えてくれるだろう。

新校舎でスタートした生徒たちは、張り詰めた気持ちの状態が続いているのではないか。頑張りすぎてしんどいときには気持ちを緩めて休む、逆に緩んでしまっているときには気を引き締める。「メリハリ」のある生活は、新たな目標に挑戦する意欲を高める力となる。

訪問した園や学校の先生から、「場面緘黙の子どもが話すようになった」、「複式学級となって心配したが異学年同士の学び合いにつながっている」、「入学式で泣いていた子どもが元気に登校している」など、嬉しい出来事を聞きました。

「はじめ」は、大人でもドキドキします。子どもが不安を抱えているとき、先生自ら心と口を開いて思いを伝え、子どもが安心できる学習環境を整えましょう。



とれたて直送便



【脳を進化させる3つの習慣】

- 1 血流を促進させる～適度な運動で血流をよくすると、様々なリスクを低減できる。
- 2 人とよく交流する～仕事に限らず、鉄道や俳句など趣味の同好者のつながりがあると、楽しくコミュニケーションを活性化できる。
- 3 新しいことに挑戦する～登山や楽器を始めるなど何でもいいので、新しいことへの挑戦も脳の活性化に寄与する。